

政策	12 安全で良好な水資源の確保						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	森林保全などの水資源の確保に努め、安全で良質な水の安定した供給が図られている。生活雑排水処理対策の推進が図られ、市民の快適な生活環境が確保されている。治水・利水・環境・景観等に配慮した河川環境が形成されている。						
成果指標	上下水道整備・管理市民満足度 5年間(H25～H29)で65.0%（現状値63.7%） 河川環境基準(BOD)達成率 5年間(H25～H29)で100.0%（現状値92.0%）						
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [ % ]	予定				65.00	
		実績	63.70			63.00	
	成果指標2 [ % ]	予定	92.00	94.00	96.00	98.00	100.00
		実績	92.00	89.00	93.00	93.00	95.50
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	10,694,114	11,296,131	12,471,804	12,629,006	11,742,565	
	実績	9,857,711	11,342,784	11,920,820	11,351,408	11,274,042	
内部評価	貢献度	基本施策が目指す姿である、安全で良質な水の安定供給・生活排水処理対策の推進・良好な河川環境の形成を図る上で、本基本施策の目標の達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	単位施策においては、生活排水処理施設の整備・管理は目標値に達したが、他の単位施策については、目標値に達することができなかった。					
	課題	基本施策目標値達成のため、直接目標値に関連する水質基準向上のための各事業の向上及び市民に対しての普及啓発等の工夫が必要である。					
	取組方針	目標値達成のため、水道施設の布設替え計画の見直しや生活排水施設の利用促進、普及活動に努める。また、水路等の維持管理を適正に行い、良好な河川環境の形成を図る。					
外部評価	<p>目指す姿として、安全で良質な水の安定提供、生活排水処理対策の推進、良好な河川環境の形成等に掲げられているが、関連する3つの単位施策においては、概ね目標を達成しており、進捗は順調であると考えられる。</p> <p>現在の地下水を活かした上水道の供給を続けるためには、安全で良質な水資源の確保が重要であることから、水源地の管理や河川の水質改善等の施策の達成が必要である。</p> <p>また、市民が貴重な水資源や健全な水循環についての理解と関心を深める対策をしてほしい。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	1201	上水道の整備・管理				4,055,659	100
	1202	生活排水処理施設の整備・管理				7,190,734	100
	1203	河川環境の整備・管理				27,649	100

## 平成29年度 基本 施策評価表 補表

施策	12 安全で良好な水資源の確保		
区分	妥当性	妥当	安全で良好な水資源を確保するうえでは、有効であり欠かせないものである。
	コスト削減の余地	有	各単位施策内の事業の見直し、また、調整等を行うことで経費の削減ができる。
	受益者負担	適正	負担割合は適正である。
	上位貢献度	有効	基本施策の目標達成への貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替え事業等はない。
	成果向上の余地	有	各単位施策を進めることで成果も向上する。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	基本施策が目指す姿である安全で良質な水の安定供給・生活排水処理対策の推進・良好な河川環境の形成を図る上で、本基本施策の達成は大きく貢献するものである。	
	達成状況	単位施策においては、生活排水処理施設の整備・管理は目標値に達したが、他の単位施策については、目標値に達することが出来なかった。	
	課題	施設の老朽化や清掃参加者の高齢化により、単位施策に未達成が出てきている。基本施策目標値達成のため、直接目標値に関連する水質基準向上のための各事業の向上及び市民に対しての普及啓発等の工夫が必要である。	
	取組方針	目標値達成のため、水道施設の布設替え計画を見直し、漏水の早期発見に努めるとともに、生活排水施設においては、整備、運営管理を計画的に実施し、排水施設の利用促進、普及活動に努める。また、河川、水路等の維持管理を適正に行い、河川環境向上の啓発活動に取り組むことで、良好な河川環境の形成を図る。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	基本施策が目指す姿である安全で良質な水の安定供給・生活排水処理対策の推進・良好な河川環境の形成を図る上で、本基本施策の達成は大きく貢献してきた。	
	達成状況	平成28年度に実施した市民満足度調査及び河川環境基準(BOD)、また上水道の有収率については、目標値に達することが出来なかったが、各単位施策については、概ね目標のとおり達成した。	
	課題	今後、施設の老朽化が進み、少子高齢化に伴う人口の減少により、基本施策目標値達成が厳しい状況になると思われる。このため、直接目標値に関連する水質基準向上のための各事業において、見直しや再検討を行い、各事業の向上を図る必要がある。	
	取組方針	後期の5年間は、目標値達成のため、河川環境向上の啓発活動を行うとともに、河川・水路等の適正な維持管理に努め、生活排水処理施設の利用促進においても、普及活動等を積極的に行う。また、老朽化している水道施設の計画的な更新を行い、漏水等の不明水を低減し、有収率の向上を図る。	